

ごあいさつ

学校長 今村 律子

2019年度の『和歌山大学教育学部附属小学校紀要』を刊行します。

今年度、昨年度に引き続き「未来に生きて働く資質・能力の育成（2年次）」の具現化に取り組みました。これは来年度完全実施となる小学校学習指導要領で改訂の要点として取り上げられている「資質・能力」をどのように育成していくかに焦点を当てて研究に取り組み始めたものです。21世紀の担い手である子どもたちが協働して未来を切り拓いていくために必要となる資質・能力を、「探究力」と「省察性」の2つと捉えました。探究力とは、問題発見力や情報収集能力、コミュニケーション力等、資質・能力3つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）の育成に必要な資質・能力の総体とし、省察性とは、目的に応じて、立ち止まってモニタリングしたり、問い直したり振り返ったりする等、学習や行動を調整する資質・能力と考え、昨年度は2つの資質・能力を育成するためのカリキュラム開発と探究的な学びとなる授業像を探りました。その結果、探究的な学びについては成果が感じられたものの、カリキュラムによる資質・能力育成の促進には至らなかったという課題が残りました。

そこで、本年度は研究副題を「探究力を育むカリキュラム・マネジメント」とし、探究力育成のためのカリキュラム・デザインに、全教員が一丸となって取り組みました。2019年11月には、カリキュラム・デザインに基づく22本の授業実践を教育研究発表会にて提案させていただきました。その他、校内研究授業、複式授業研究会、公開授業研究会、ICT活用授業研究会、和歌山大学教育学部との連携事業等とおした取り組みを、研究成果という形で皆様のもとにお届けする次第です。ご高覧いただき、皆様より様々な角度から忌憚のないご意見を賜り、今後なお一層努力して参りたいと思います。

最後になりましたが、本校の教育・研究活動の推進にあたり、ご指導、ご助言をいただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。